

伝統作物を伝える



主催 高知県 (平成25年度伝統作物活用研修会)

2014年1月10日(金) 13:00~17:00 高知市総合あんしんセンター3階会議室
(高知市丸の内1-7-45: 旧高知市民病院あと)

■ ■ ■ ね ら い

高知県は、気候や地理的条件に恵まれ、古くから地域に根ざした野菜、雑穀、豆類などさまざまな農産物、「伝統作物」が栽培されてきました。これらの中には、収益性が低い、さらに食生活の変化による市場性の低下といった理由により、生産量が減少したり姿を消したものが多くあります。

一方、最近の地産地消への関心の高まりから、地域の食文化を背景に持つ個性ある作物が注目を集めています。このような地域に残された在来種、伝統作物の栽培体制を整え、直販所における販売や加工品の原料として確保するなど、特色ある地域資源としての活用を進め、地域の活性化につなげていくため、山形県での先進的な取り組みに関する講演と取組を追ったドキュメンタリー映画の上映を行い、併せて高知県での伝統作物の活用について考えます。

■ ■ ■ 講 演 (13:00~14:30 予定)



江頭 宏昌 氏 (山形大学農学部准教授)

＜在来作物を伝える意義、
地域らしさとは何か＞

専門分野: 育種学、園芸学・造園学、植物資源学
研究テーマ: 山形県の在来作物を中心とする有用植物遺伝資源および育種技術の開発に関する研究。山形県在来作物研究会長

■ ■ ■ 映画上映 (14:40~16:10 予定)



おいしくて、そして
心に効くドキュメンタリー映画



山形の在来作物のたねを守り継ぐ人々の物語。奥田政行シェフ(アルケッチャーノ)や江頭先生が登場。

「よみがえりのレシピ」には、僕たちの懐かしい未来のタネがまっている。

文化人類学者 辻真一

■ ■ ■ 参加申込み&お問い合わせ: 高知県農業振興部地域農業推進課6次産業化担当 杉本、井上

電話 088-821-4537 FAX 088-873-5162

電子メール 160201@ken.pref.kochi.lg.jp